

小児・AYA がんトータルケアセンター

■ スタッフ

センター長	(小児科医)	澤田 博文
副センター長	(小児科医)	天野敬史郎
副センター長	(小児看護専門看護師)	河俣あゆみ
センター員	(小児科医)	淀谷 典子
センター員	(小児科医)	森本 真理
センター員	(看護師)	末藤 美貴
センター員	(看護師)	井倉 千佳
センター員	(看護師)	森田 美幸
センター員	(看護師)	河野 芽依
事務員		山下 由貴
事務員		金山 伊都

■ 特色・診療対象疾患

本センターは、入院中および外来の子どもや家族に対する医療の相談活動と共に、在宅・学校など病院外で生活する子どもや家族の生活支援のための地域連携や多職種からの相談活動や教育的支援を行っています。特に医療的ケアを要する在宅で生活する子どもや小児がんおよびAYA がんの子どもと家族への支援を行います。医療的ケア児やがんの子ども在宅訪問診療、看護の実践をしています。

【小児在宅部門の活動】

1. 在宅移行支援・在宅生活支援

・在宅移行支援・在宅生活支援：NICU では1回/週、小児科病棟では2回/週、当センター看護師とMSW との多職種で在宅支援カンファレンスを実施しています。

2. 訪問活動の実績

・訪問診療・訪問看護

当センター医師及び看護師による訪問診療・看護を実施しています。小児在宅指導・加算算定点数は3,440,350点でした。

呼吸器使用児の在宅訪問や小児がん終末期の訪問診療・往診を計20回行いました。

・小児支援部会の開催

月1回、在宅移行・在宅生活中の子どもに加え、AYA がん患者に関する検討も行い、子どもと家族支援について、多職種による検討を行っています。地域医療機関・関係施設との研究会を開催し、顔の見える関係作りをしています。

3. 相談活動・地域連携

・相談活動

《病院内》

医師・看護師・薬剤師からの相談が47件ありました。

《病院外》

病院外からは、家族、保健師、訪問看護ステーション、他医療機関などから155件の相談がありました(家族を除く)。

相談件数合計	件数(件)
院内	47
医師(院外)	7
家族	86
本人	1
保健師	5
訪問看護師・園看護師	31
相談支援専門員	3
薬剤師	3
他医療機関	10
学校	3
その他(行政・業者等)	6

・地域連携

《三重県小児在宅研究会の開催》

小児在宅支援に関わる多職種や関係機関と小児在宅研究会を通じて、顔の見える関係作りと連携を図っています。

《児童虐待相談部会》

事例検討を通じて児童相談所や保健師と連絡・調整を行っています。

4. 三重県小児在宅医療推進ワーキンググループ

・三重県小児在宅医療推進ワーキンググループ

年度を通じて3回、三重県庁にてセンタースタッフと三重県ワーキングメンバーによる三重県における小児在宅の充実について話し合いを行っています。《三重県ワーキングメンバー》

三重県

医療保健部

医療政策課

健康推進課

長寿介護課

子ども・福祉部

子どもの育ち支援課

障がい福祉課

三重県教育委員会

特別支援教育課

防災対策部

地域防災推進課

5. 教育活動の実績

- ・令和6年度第1回小児在宅看護研修会
テーマ：初期研修① 小児在宅ケア概論
対象：訪問看護師、病院看護師、学校看護師、幼稚園・保育園看護師、福祉事業所の看護師
参加者：87名
- ・令和6年度第2回小児在宅看護研修会
テーマ：初期研修② 医療的ケアを必要とする子どもの身体的特徴
対象：訪問看護師、病院看護師、学校看護師、幼稚園・保育園看護師、福祉事業所の看護師
参加者：61名
- ・令和6年度第3回小児在宅看護研修会
テーマ：スキルアップ研修 事例を通した子どもと家族の看護
対象：訪問看護師、病院看護師、学校看護師、幼稚園・保育園看護師、福祉事業所の看護師
参加者：43名
- ・第15回三重県小児セラピー研究会
テーマ：スペシャルニーズのあるこどもの教育を今考える～教員・セラピストによる連携が目指すもの～
対象者：多職種
参加者：198名
- ・第9回小児がん診療体制における東海北陸ブロック多職種連携研修会
対象：東海北陸ブロック多職種
参加者：52名
- ・第14回にじいろネット
対象者：多職種
参加者：103名
- ・第9回三重県小児在宅医療実技講習会・講演会
テーマ：小児在宅医療の実践と実技講習
対象者：（第1部）医師・看護師（第2部）多職種
参加者：（第1部）72名（第2部）121名
- ・令和6年度 医療的ケア児・者の地域ネットワークにおけるスーパーバイズ機能推進研修会
対象者：多職種
参加者：（第1部）27名（第2部）44名
- ・第24回三重県小児在宅研究会
テーマ：医療的ケア児の教育支援
対象者：多職種
参加者：127名
- ・第16回三重県小児セラピー研究会
テーマ：先天性心疾患のこどもの命と育ちを支

えるために～未来を見据えた実践を考える～

- 対象者：多職種
参加者：107名
- ・医療的ケア児・者コーディネーターフォローアップ研修
対象：医療的ケア児・者コーディネーター養成研修修了者
参加者：41名
- ・第15回にじいろネット
対象者：多職種
参加者：82名
- ・令和6年度 医療的ケアを要する重症児・者の地域ネットワーク連携研修会
対象者：多職種
参加者：109名
- ・障害福祉サービス等事業所等職員向け医療的ケアスタートアップ・技術スキルアップ研修会
全9回開催 参加者：71名
- ・保育所・幼稚園等及び学校に勤務する看護師と養護教諭のスキルアップ研修会
全1回開催 参加者 15名

【AYA がん部門の活動】

1. AYA がん患者に関する相談活動

AYA 支援チーム活動を通じて、新規に10名の患者の介入を開始した。相談内容は心理的支援、教育支援、在宅生活支援、就労支援、家族支援でした。

2. 教育活動の実績

AYA がん研修会を隔月1回開催継続しています。

- ・第24回：AYA 世代がん患者の診療支援
～これからはじめるみなさんへ～
- ・第25回：事例相談⑨
～治療に抵抗性になってきたとき～
- ・第26回：AYA がんの妊孕性温存
- ・第27回：考えよう！AYA 世代のがん看護
- ・第28回：高校生支援について
～現状と本校による取り組み～
- ・第29回：事例相談⑩
～Young Adult 世代結核がん患者の支援～

▶ <https://child-aya.med.mie-u.ac.jp/>